

臨海産業地区

<現況特性>

臨海産業地区のうち、臨海埋立地は工業地域に、背後の内陸部は住宅地域や農用地区域に指定されている。工業地域の水路沿いや内陸部との境界には、保安林などの大規模な緩衝緑地帯があり、連続性のある緑量が確保されている。

しかし、この緑地はレクリエーション機能や景観機能などの面で十分な機能が発揮されておらず、特に今後の工場立地による人口増加を考慮すると緑地の機能向上が望まれる。また、この緑地は生態系保全の観点から重要な緑地であるが、周辺の工業地域、住宅地域、農地などから孤立しており生態系のネットワークが乏しい状況である。

臨海部には風車群があり、自然エネルギーを象徴する特徴的な景観を形成している。



企業立地内緩衝緑地と風車群



緑が浜公園



田原リサイクルセンター（炭生館）



緑が浜2号緑地（エコパーク）



笠山緑地



西浦のマツ林



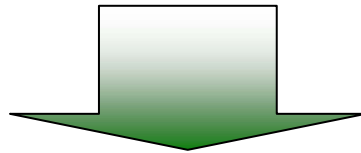
トヨタ自動車(株)田原工場の緑化状況



田原4区

<課題>

- 大規模な緩衝緑地帯の機能向上
- 工業地域と住宅地域、農地の生態系を中心としたネットワークの強化、再編
- 海に隣接する特性を活かした親水空間の確保
- 今後の人口増加を考慮したレクリエーション機能を有する緑地の確保



<テーマ>

周囲の海や既存の緑と連続する骨格的「緑」を保全、整備することで、産業空間と暮らし、自然環境と調和した緑豊かなアメニティ性の高い緑地空間を創出するとともに、生態系を中心としたネットワークを創出する。



図 5-4-3 : 臨海産業地区将来像

